

REAPOR®

この設置ガイドはReapor®の耐用年数を最大にするための推奨事項を説明しています。

重要設置要件

屋外用途での耐用年数、音響特性、美観を最大限にするために、Pyrotekは、AS 3958.1に従い、構造音響石下地（コンクリート、ブロック壁、レンガ壁または圧縮繊維セメントボード）にReapor®パネルをPyrotek CB接着剤を使用して取り付けることを推奨します。AS 3958.1は屋外用途で90%の接着被覆率を求めています。この被覆率は通常、音響パネルには6mm (0.2 in) の櫛目ごてで、下地には10 mm (0.4 in) の櫛目ごてで、接着剤を裏に塗ることでより達成できます。

下地表面の粗さにより厚い接着材層が必要になる場合があります。別の方法として、粗い表面を整えるために表面の下塗りまたは研削を検討してください。

設計詳細

- パネルは乾いた壁または天井に取り付けてください。パネルは擁壁や防湿層より下に取り付けることは推奨されていません
- パネルの裏側に雨水が流入するのを防ぐために、パネルは上端のパネル/壁の上に雨押さえ/蓋 (COLORBOND® 鋼など) を取り付けるか、またはパネルをプレキャストコンクリート壁の凹みに埋め込む必要があります。パネル、接着層、25 mm (1 in) 以下の下端/水切りを音響パネル上部に設けるために、凹みは70から80 mm (2.8から3.1 in) にすることを推奨します
- 底部のパネルは、しっかりと水がはけるように、また舗装等からの水が染み込まないように水切りを設置してください
- 屋外用途の場合、Reapor®パネルはPyrotek CB接着材を使用することにより早く簡単に水平および垂直面に取り付けることができます



PYROTEK® CB接着剤を使用する

Pyrotek® CB接着剤はセメントベースの柔軟なポリマー接着剤で優れた作業特性を持っています。

Pyrotek® CB接着剤が気温23°C (73°F) 以上のとき速く硬化しすぎないようにコンクリートなどの多孔性下地に軽く水を吹きかけることができます。

用途

- オフィスの内壁と天井、小売スペース、病院、学校、老人介護施設
- 鉄道や自動車道路の壁、トンネル、換気塔および出口
- 高い火災等級を必要とする用途
- 空港、駅および駐車場
- 機械や産業機器の筐体
- 空調設備、工場の部屋および変電所
- 出口、喫煙所、吹き抜けの階段およびドライブスルーエリア
- 道路の障壁、工場の囲いおよび防音壁

屋外商業用途の場合、適切な設置と熟練者による仕上げが行われるようにしてください。Reapor®は、比較的平らで、清潔で乾いた、汚れのない表面に接着させてください。

設置

- Pyrotek® CB接着剤は接着剤包装にある指示に従って混ぜてください
- すべての下地は清潔で、レイタンス、養生剤、泥、ほこり、グリス、油そして固着を阻害する他の汚染物質がない状態にしてください
- すべての下地は接着剤塗布前に清浄な水できれいにしてください
- すべての離型剤と養生剤の痕跡が確実に取り除かれるようコンクリート傾斜パネルの下準備に注意してください
- 懸念がある場合、高圧洗浄機を使用してコンクリート母材の中の細骨材を露出させて清浄な下地を準備してください
- 塗装面は荒仕上げまたは機械的にこすって、剥離した塗料を取り除いてください
- セラミックタイルを貼るのに適していない塗装面は取り除いてください
- 垂直に設置する際は荷重の伝達を考慮する必要があります。パネルは伸縮継ぎ手をまたいでなりません
- 垂直面については、接着剤が硬化するまで最下列のパネルを支えるためにサポートを使用することを推奨します
- 90%の接着剤被覆率は、接着剤を下地には10mm (0.4 in) の櫛目ごてで、音響パネルには6 mm (0.2 in) の櫛目ごてで裏に塗ることにより達成できます
- 下地表面の粗さの度合いにより厚い接着材の層が必要になる場合があります
- 推奨されるパネル間隔はタイルスペーサーを使用して 2 mm (0.08 in) です
- 取り付けるとき、すべての接着剤としっかりと接触させるため、少しねじって適度な圧力をかけてください
- 接着剤の刻み目は残さず、タイルの下に間隙が起きないようにしてください(画像5を参照)
- 平らまたは平面仕上げが必要な場合、パネルを裏返し、面取りをした端のある面を下地に接着してください
- 接着剤がReapor®の表面に落ちた場合、それを乾かしてから研磨して取り除く必要があります
- タイルの接着剤がしっかりと硬化するまで、タイルを天井に設置されたばかりの場所への立ち入りは制限してください



